

第34回

日本観光研究学会 全国大会 学術論文集

Proceedings of JITR Annual Conference

2019年12月

タイトルをクリックして
本文へジャンプ

Adobe社が提供する
Adobe Acrobat Reader
で閲覧してください。

目次

1. 日本版DMOで働く女性の活躍推進の現状と課題 1
—観光地域づくりにおける女性リーダー育成・支援方策の検討—
柏木 千春 (流通科学大学人間社会学部) / 黒澤 聖子 ((株)アンド・ディ)
神元 詠子 ((一社)豊の国千年ロマン観光圏)
2. 南貞助論試考 5
—日本の近代観光政策を発明した男—
中島 敬介 (奈良県立大学ユーラシア研究センター)
3. 特定複合観光施設区域整備法に関する考察 9
—大阪府を事例として—
山川 雅行 (大阪観光大学観光学部)
4. 1969年観光政策審議会専門委員会による「観光」の定義創出プロセス 13
—観光政策審議会議事録の分析を通じて—
西川 亮 (立教大学観光学部)
5. オーバーツーリズムの影響と対策 17
—スペイン ジローナ市の事例から—
野村 佳子 (摂南大学経済学部) / 加嶋 章博 (摂南大学理工学部)
6. 日本の宿泊業と交通業におけるシェアリングエコノミー事業の課題 21
李 根熙 (立命館アジア太平洋大学国際経営学部) / 蛭谷 憲治 (大分交通(株))
7. ツーリズム・コモンズ論としての観光政策論試論 25
—ツーリズム・ジレンマから観光を捉えなおす—
安田 慎 (高崎経済大学地域政策学部)
8. 外国人材における観光産業への関心度に関する一考察 29
岩本 英和 (城西国際大学大学院国際アドミニストレーション研究科)
鈴木 崇弘 (城西国際大学大学院国際アドミニストレーション研究科)
遠藤 十亜希 (城西国際大学大学院国際アドミニストレーション研究科)
黒澤 武邦 (城西国際大学大学院国際アドミニストレーション研究科)
9. プラットフォームの構築から考える外国人の地方誘致について 33
遊佐 光正 ((株)JTB グローバルマーケティング&トラベル)
10. 観光学入門書にみる観光学の変遷 37
—「観光政策」の視点を加味して—
有馬 貴之 (横浜市立大学国際教養学部)

11. 韓国の公共機関による観光ベンチャー企業の育成と支援 崔 瑛 (静岡英和学院大学人間社会学部)	41
12. 価格訴求型旅行促進による観光復興政策の課題 —「北海道ふっこう割」を事例に— 室岡 祐司 (九州産業大学地域共創学部)	45
13. 場所の味覚、フードトレイルと価値共創 —ステーキホルダーのネットワークと観光客の相互作用— 尾家 建生 (大阪府立大学観光産業戦略研究所)	49
14. 地方都市における特産品のブランド化に関する研究 —岩手県二戸市における取り組みを題材に— 王 彤彤 (文教大学大学院国際学研究科) / 海津 ゆりえ (文教大学国際学部) 真板 昭夫 (北海道大学高等観光学研究センター)	53
15. 韓流人物考序説Ⅱ —観光資源としての歴史人物— 朴 在徳 (名桜大学国際学群) / 李 聖恵 (釜山大学) / 金 昌民 (全州大学)	57
16. 効果的なデスティネーションマーケティングにむけた一考察 —デジタル時代のプロモーションミックス— 高橋 一夫 (近畿大学経営学部)	61
17. 観光地や宿泊施設の広告レイアウトと消費者の心理的距離 石井 裕明 (成蹊大学経済学部) / 外川 拓 (千葉商科大学商経学部) 朴 宰佑 (武蔵大学経済学部) / 松本 大吾 (千葉商科大学サービス創造学部)	65
18. 日本の地域観光に対応する「ゲヌスレギオン・エスターライヒ」の研究 —国策的マーケティング戦略としての概要と関連する社会的文化基盤、 日本国内における理解の整理— 山川 拓也 (流通科学大学人間社会学部)	69
19. イングランドの国立公園における事業分野別の収支について 小堀 貴子 (東京大学大学院農学生命科学研究科) 山本 清龍 (東京大学大学院農学生命科学研究科) 山島 有喜 (東京大学大学院農学生命科学研究科) 下村 彰男 (東京大学大学院農学生命科学研究科)	73
20. DEAを用いた訪日外国人観光客の誘致パフォーマンスに関する研究 古屋 秀樹 (東洋大学国際観光学部) / 金 貝 (PAL(株))	77
21. 地域住民における観光開発への参加・協力意図について —スペインテネリフェ島の若年層を中心に— 宮城 博文 (大阪商業大学総合経営学部)	81
22. ヘルス・ツーリズムによる地域振興の可能性 —濟州 (チェジュ) オルレの地域連携による活性化の事例— 辻本 千春 (流通科学大学人間社会学部)	85
23. サービスの失敗と顧客の苦情に対するマネジメントのあり方 —Dホテルズ&リゾート会社の顧客コメントの分析から— 姜 聖淑 (帝塚山大学経済経営学部) / 米田 晶 (帝塚山大学経済経営学部)	89

24.	観光地ライフサイクル (TALC) に関する定量的分析方法 —AMMAの観点から—	93
	西井 和夫 (流通科学大学経済学部) / 森澤 龍也 (流通科学大学経済学部) 三石 貴志 (流通科学大学経済学部)	
25.	地域主導型観光における推進組織のあり方に関する一考察 —三重県鳥羽市・京都府南丹市美山町・兵庫県豊岡市出石町の 比較分析—	97
	清水 苗穂子 (阪南大学国際観光学部) / 海津 ゆりえ (文教大学国際学部) 森重 昌之 (阪南大学国際観光学部) / 山本 清龍 (東京大学大学院農学生命科学研究科)	
26.	小規模宿泊施設におけるイールドマネジメントとしての動的価格付け —京都の町家旅館をケースとして—	101
	河野 憲嗣 (大分大学経済学部) / 小出 哲彰 (データサイエンス共同利用基盤施設)	
27.	観光地のスマート化に向けた観光ビッグデータに関する国内研究のレビュー —データマネジメントの視点からの試行的整理—	105
	佐藤 充 (福知山公立大学地域経営学部)	
28.	地域資源を活かす観光体験としてのロケーションフォトウェディングの特徴 —香港からのインバウンドによるロケーションフォトウェディングを 事例として—	109
	今野 久子 (帝京大学経済学部) / 八城 薫 (大妻女子大学人間関係学部) 花井 友美 (帝京大学経済学部)	
29.	フォトジェニックな旅の特徴 —SNSに旅行写真を投稿する心理的背景と旅行先の選択プロセス—	113
	花井 友美 (帝京大学経済学部) / 八城 薫 (大妻女子大学人間関係学部) 今野 久子 (帝京大学経済学部)	
30.	沖縄の地域特性を生かしたメディカルツーリズムの事例研究	117
	張 雅晴 (琉球大学大学院観光科学研究科) / 荒川 雅志 (琉球大学大学院観光科学研究科)	
31.	宿泊業における歴史的建造物の保存と活用に関する研究 —パラドールの事例を中心に—	121
	金 振暁 (帝京大学経済学部) / 渡邊 浩良 ((株)JTB 総合研究所) 具 敏靖 (帝京大学経済学部)	
32.	「スナックツーリズム」に関する一考察 —日常と非日常が交錯し交流する場として—	125
	米田 誠司 (愛媛大学法文学部)	
33.	気候変動が観光に及ぼす経済的影響評価に係る研究 —「さっぽろ雪まつり」での採雪可能量の変化に基づく コスト増加額分析を事例として—	129
	橋爪 拓也 (日本エヌ・ユー・エス (株)) / 河本 光弘 (札幌国際大学大学院観光学研究科) 安富 聡 (日本エヌ・ユー・エス (株)) / 櫻木 萌子 (日本エヌ・ユー・エス (株))	
34.	観光振興における飲食ビジネスモデルとしての「屋台村」の モデルの意義と課題 —鹿児島中央駅前「かごつまふるさと屋台村」を事例に—	133
	大井 尚司 (大分大学経済学部門)	

35.	訪日外国人観光客に対する態度尺度の開発 —海外旅行経験による影響についての予備的分析— 西村 幸子 (同志社大学商学部)	137
36.	道路景観の整備は観光地選択に影響を与えるか —“Blooming Project”の総括として— 佐久本 樹 (琉球大学観光産業科学部) / 仲村渠 裕斗 (琉球大学観光産業科学部) 大屋 達義 (琉球大学観光産業科学部) / 嘉数 晴花 (琉球大学観光産業科学部)	141
37.	ホスト／ゲストの役割流動化から考える「観光による共感」 —訪日外国人観光客向け道案内ボランティアガイドの事例を通して— 高井 典子 (文教大学国際学部)	145
38.	観光経験がライフスタイル移住意図へ及ぼす影響 —沖縄への移住希望者を対象とする調査を通して— 小原 満春 (和歌山大学大学院観光学研究科)	149
39.	山形県沖地震における訪日外国人旅行者の情報認知と行動 熊谷 智 ((株)サーベイリサーチセンター) / 石川 俊之 ((株)サーベイリサーチセンター) 鈴木 敬 ((株)サーベイリサーチセンター) / 藁谷 峻太郎 ((株)サーベイリサーチセンター)	153
40.	Film Induced Tourismにおける旅行者の訪問意思決定 —態度形成理論と聴衆関与の概念に基づく研究モデルの提示— 田中 涼 (首都大学東京大学院都市環境科学研究科) 直井 岳人 (首都大学東京大学院都市環境科学研究科)	157
41.	八幡平温泉郷来訪者の温泉に対する意識と観光振興策の提案 佐々木 啓 (岩手大学大学院総合科学研究科) 山本 清龍 (東京大学大学院農学生命科学研究科)	161
42.	観光行動の要因としての欲求・欲望・欲動に関する考察 安島 博幸 (跡見学園女子大学観光コミュニティ学部)	165
43.	観光目的地の商業環境における観光者と地元商業者のトランザクション —沖縄県那覇市国際通り周辺の商業施設における フロント・バックの事例を通して— 伊井 大樹 (琉球大学観光産業科学部) / 上原 明 (首都大学東京大学院都市環境科学研究科) 直井 岳人 (首都大学東京大学院都市環境科学研究科) / 飯島 祥二 (琉球大学観光産業科学部)	169
44.	観光者の審美眼と行動・経験に関する考察 —バックパッカーツーリストとボランティアツーリストを事例として— 薬師寺 浩之 (奈良県立大学地域創造学部)	173
45.	旅行キャリアと最適な旅の経験 (2) —旅行キャリアタイプからみた印象に残る観光経験— 林 幸史 (大阪国際大学人間科学部)	177
46.	特撮ツーリズム開催地の推移と時代背景 二重作 昌満 (東海大学大学院文学研究科) / 田中 伸彦 (東海大学観光学部)	181
47.	1940年代のガイドブックにみる鉄道沿線の車窓観光について —茨城県の常磐線沿線を対象に— 正木 聡 (常磐大学総合政策学部)	185

48.	祭礼と花柳界の関係 —祭礼時における芸妓の芸能披露のシーンに着目して—	189
	岡村 祐 (首都大学東京大学院都市環境科学研究科) 小向 光 (首都大学東京大学院都市環境科学研究科) 手代木 茜 (首都大学東京都市環境学部) 須田 万貴 (首都大学東京都市環境学部)	
49.	石灰石に関連する沖縄の観光資源に関する考察	193
	岡田 昌彰 (近畿大学理工学部)	
50.	中国・延辺の観光における食体験 —学生交流プログラムへの参与観察から—	197
	李 娜 (立教大学大学院観光学研究科)	
51.	観光地ガバナンスが観光地に与える影響に関する研究 —我が国の地方自治体の観光担当職員への意識調査を通じて—	201
	菅野 正洋 ((公財)日本交通公社) / 守屋 邦彦 ((公財)日本交通公社) 保井 美樹 (法政大学)	
52.	The Impact of Designating Preservation Districts on the Housing Market —Evidence from Two Preservation Policies in Kobe City—	205
	中川 秀幸 (国際教養大学国際教養学部) / 田中 麻琴 (国際教養大学国際教養学部)	
53.	阿蘇地域における世界農業遺産の景観的価値を支える景観構造とその施策	209
	町田 怜子 (東京農業大学) / 松野 愛子 (東京農業大学) 大津 愛梨 (東京農業大学造園科学科卒業生) 麻生 恵 (02 ファーム / 慶応義塾大学 SFC 研究所 / 東京農業大学)	
54.	テキストマイニングの手法を活用した生活世界と観光資源の把握 —北海道札幌市の都市計画マスタープランと観光経験の分析から—	213
	泉澤 圭亮 (無所属) / 中鉢 令兒 (元北海商科大学商学部)	
55.	震災復興過程における観光まちづくりの取り組みへの地域特性の影響	217
	井上 晶子 (立教大学観光研究所 / 杏林大学) / 古本 泰之 (杏林大学)	
56.	観光地化の進行と都市公園に対する関心の変化 —国営常陸海浜公園を事例として—	221
	平松 玲治 ((一財)公園財団公園管理運営研究所)	
57.	町並み観光地における商業施設の特徴と変遷 —1990年以降の長野県妻籠宿・海野宿・奈良井宿を対象に—	225
	木村 竜也 (立教大学大学院観光学研究科) / 羽生 冬佳 (立教大学観光学部)	
58.	環境保全を目的とする基金設立への賛否と許容される用途 —阿蘇くじゅう国立公園利用者を事例として—	229
	山島 有喜 (東京大学大学院農学生命科学研究科) 山本 清龍 (東京大学大学院農学生命科学研究科) 小堀 貴子 (東京大学大学院農学生命科学研究科) 下村 彰男 (東京大学大学院農学生命科学研究科)	
59.	観光産業に対する地域バイオマス利活用の効果 —観光と森林バイオマス利活用との融合可能性マトリクスの検討—	233
	田中 伸彦 (東海大学観光学部)	

60.	アーティストたちがつくる「下町」 —地価高騰を抑制する観光まちづくり— 堀内 史朗 (阪南大学国際観光学部)	237
61.	都市のフードツーリズムにおける「市場」の可能性と課題に関する考察 高田 剛司 ((株)地域計画建築研究所)	241
62.	堀川遊覧船運航の前提と松江観光地域づくりにおける貢献に関する一考察 古賀 学 (松蔭大学観光メディア文化学部) / 乙部 明宏 ((公財)松江市観光振興公社)	245
63.	フォロワーから見たまちづくりにおけるリーダーシップの探索的検討 井手 拓郎 (杏林大学外国語学部)	249
64.	学校教育と地域の連携による観光まちづくりの分析 —石垣島白保地区における取組から— 投石 文子 (四国大学)	253
65.	東京2020オリンピックに向けたイベント民泊(旅館業法)の法的概説 —観光庁・厚生労働省「イベント民泊ガイドライン」の 2019年改訂の法的フレームワーク— 渡部 友一郎 (第二東京弁護士会)	257
66.	地域外関係者の地域へのかかわりの変容とその要因の分析 —北海道釧路市の長期滞在事業を事例に— 森重 昌之 (阪南大学国際観光学部) / 内田 純一 (小樽商科大学大学院商学研究科) 敷田 麻実 (北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科) 海津 ゆりえ (文教大学国際学部)	261
67.	観光地域と旅行会社の共有価値創造(CSV) —産官学連携「南阿蘇観光未来プロジェクト」を事例に考察する— 本間 准 (立教大学大学院ビジネスデザイン研究科 / (株)ジャルパック)	265
68.	「由布院モデル」から見る日本版DMOの課題 大澤 健 (和歌山大学経済学部)	269
69.	着地型観光における地域住民と事業者との協働体制の場づくりに 関する考察 —横浜市内2地域(関内地区・山手地区)での着地型観光 ワークショップの実施結果から— 秋山 友志 (横浜商科大学商学部)	273
70.	北海道十勝における連続テレビ小説「なつぞら」による観光空間の形成 渡邊 瑛季 (宇都宮共和大学シティライフ学部) 安村 健亮 (元筑波大学大学院生命環境科学研究科)	277
71.	観光客増加期における経済的恩恵の地域内での還元方策に関する研究 —理と利のバランスに取り組んできた町並み保全地域に着目して— 石山 千代 (東京大学大学院工学系研究科) / 窪田 亜矢 (東京大学大学院工学系研究科)	281
72.	PR動画を活用した宮城県登米市のシティプロモーション 益満 環 (秋田大学教育文化学部)	285
73.	創造農村と社会関係資本に関する社会学的考察 本田 量久 (東海大学観光学部) / 藤田 玲子 (東海大学国際教育センター)	289

74.	観光と福祉の連携による持続可能な地域形成 —京都府与謝野町「与謝野ブランド戦略」に着目して— 一井 崇 (富山国際大学現代社会学部)	293
75.	事業者の意識と参加にみるオープンファクトリーの持続性 —新潟県燕三条地域を事例として— 丸谷 耕太 (金沢大学人間社会学域) / 石田 和晋 (グローバルマーケティング (株))	297
76.	武蔵野市セカンドスクール実施地の推移と特徴に関する研究 三浦 知子 (長崎国際大学) / 板垣 朝之 (長崎国際大学) / 堤田 稔 (長崎国際大学)	301
77.	日本の条件不利地域の観光NPO法人の資源調達活動の探索的研究 中尾 公一 (兵庫県立大学国際商経学部)	305
78.	プロプアー・ツーリズムの開発特性と今後の展望 —タイ・クロントイ地区のスラム観光を事例として— 川澄 厚志 (金沢星稜大学経済学部) / 岡 達哉 (金沢星稜大学経済学部)	309
79.	济州島における都市移住者による集落の維持 鄭 玉姬 (浜松学院大学現代コミュニケーション学部)	313
80.	コンテンツツーリズムの中のファンツーリズム要素が 観光行動に及ぼす影響 —「ラブライブ!サンシャイン!!」のファンを事例として— 毛利 康秀 (静岡英和学院大学)	317
81.	世界農業遺産の活用についての展望 —徳島県における「にし阿波の傾斜地農耕システム」の事例から— 泉 直亮 (目白大学社会学部)	321
82.	鹿児島県徳之島における島っ子ガイドの持続可能性 西村 千尋 (元長崎県立大学経済学部) / 里内 あや奈 (元長崎県立大学経済学部) 作井 智美 (元長崎県立大学経済学部) / 宅間 美咲 (元長崎県立大学経済学部)	325
83.	産官学連携の教育活動を通じた地域資源の振興 —東海北陸地域ブランド総選挙の事例より— 今永 典秀 (名古屋産業大学現代ビジネス学部)	329
84.	産学連携によるホテル人材育成に関する一考察 —ホテル・学生双方に役立つ長期インターンシップの重要性— 石谷 昌司 (城西国際大学観光学部)	333
85.	「奄美・沖縄」の世界自然遺産登録と観光教育の重要性に関する 予察的考察 —観光公害の低減の視点から— 深見 聡 (長崎大学環境科学部)	337
86.	観光の授業づくりと教材コンテンツの開発 —社会科、総合への導入と人材育成をめざして— 寺本 潔 (玉川大学教育学部)	341
87.	地域連携と高大連携を繋げた観光教育の試み —和歌山県田辺市を対象として— 峯俊 智穂 (立命館大学経済学部)	345

88.	インバウンド獲得のための“Omotenashi”多言語化への取り組み メイビン ドン(湘南工科大学工学部)／牧 紀子(湘南工科大学工学部) ドネリ ユーケリア(湘南工科大学工学部)	349
89.	コンテンツ・ツーリズムとしてのルルド巡礼の一考察 羽生 敦子(立教大学観光研究所／白百合女子大学言語・文学研究センター)	353
90.	山形県飯豊町における台湾人観光客増加の要因 山口 泰史(熊本学園大学経済学部)	357
91.	インバウンド「M・I」誘致・開催に関する一考察 —タイ国の事例研究を踏まえて— 総田 はるみ(横浜商科大学)	361
92.	歴史文化資源に対する訪日旅行者の評価特性 —繁体字・英語・日本語の言語別旅行レビューの比較— 野瀬 元子(大東文化大学文学部)	365
93.	中国人観光客のバスツアーにおける運営上の問題点に関する考察 —中部地方を中心に— 王 蛍雪(中部大学大学院国際人間学研究科)	369
94.	ドイツにおけるクルーズ —多様な寄港地, 分かれる評価— フンク カロリン(広島大学大学院総合科学研究科)／ハイン カローラ(デルフト工業大学)	373
95.	東アジアにおける「ボーダーレス観光」実現の諸条件をめぐる視点 —台湾・韓国での有識者へのヒアリング調査結果より— 野口 洋平(杏林大学外国語学部)／金 振暎(帝京大学経済学部) 花井 友美(帝京大学経済学部)	377
96.	観光動物へのまなざしとイメージの再構築 —日本人の動物観と「スノーモンキー」のイメージ分析を通じて— 佐藤 郁(明治大学国際日本学部)	381
97.	日中通訳ガイド制度に関する比較研究 邵 婷(東海大学大学院文学研究科)／田中 伸彦(東海大学観光学部)	385
98.	人新世におけるツーリズム 片瀬 葉香(九州産業大学地域共創学部)	389
99.	中国人若者の訪日旅行前の情報探索の実態 牛 暎雪(玉川大学大学院マネジメント研究科)／中村 哲(玉川大学観光学部)	393
100.	中部地方におけるインバウンド観光の季節的変動に関する一考察 —台湾からのバスツアーを中心に— 澁谷 鎮明(中部大学国際関係学部)	397
101.	気候変動ツーリズムにおける観光者の倫理 —「沈む島」ツバルを「守る」ために— 小林 誠(東京経済大学コミュニケーション学部)	401
102.	訪日教育旅行の地域データに関する考察 宍戸 学(日本大学国際関係学部)	405

103. 社会発展と自然の持続可能性探訪観光について（ペルー・アマゾン） 409
 —現在の欧米型観光にみるSDGsを見据えたluxury explore
 という有り様—
 土井 茂桂子（大阪学院大学短期大学部）
104. 台湾宜蘭県に残る西国三十三所霊場の観光利用について 413
 林 麗華（建国科技大学生活科技学院）／塩川 太郎（修平科技大学観光與創意学院）
 遲 琤起（萬能科技大学観光餐旅暨管理学院）
105. マルタとイギリスの事例からみる50+（シニア）留学の魅力 417
 —観光資源としての異文化コミュニケーション—
 小柳 志津（首都大学東京国際センター）
106. ルーラルツーリズムに関わる農村女性の幸福度指標の検討 421
 —イタリア南チロルの事例をもとに—
 五艘 みどり（帝京大学経済学部）
107. 内モンゴルにおける草原観光の拠点としてのゲルキャンプの 425
 特性と運営に関する研究
 —フルンボイル市新バルグ右旗の事例を中心に—
 セ レンメン（中部大学大学院国際人間学研究科）
108. 我が国の市区町村別宿泊データの信頼性とその偏り 429
 小笠原 悠（首都大学東京都市環境学部）
109. ヘリテージ・ツーリズムにおける鉄道の位置づけと展開 433
 藤井 秀登（明治大学商学部）
110. 2016年熊本地震による九州観光への影響（第3報） 437
 横山 秀司（九州産業大学）／室岡 祐司（九州産業大学地域共創学部）
 牧野 博明（（公財）日本交通公社）
111. 津波観光と観光者にとっての津波 441
 —2004年インド洋津波被災地を訪れる人々の津波の解釈—
 齋藤 千恵（金沢星稜大学人文学部）
112. 観光というコンテクストにおけるミュージアム研究のための一視点 445
 和泉 大樹（阪南大学国際観光学部）
113. 自然災害におけるガイドの危機管理に関する一考察 449
 —中国の九寨溝におけるガイドを事例として—
 原 艶艶（文教大学大学院国際学研究科）／海津 ゆりえ（文教大学国際学部）
114. アクセシブル・ユニバーサル・ソーシャルツーリズム概念の整理 453
 —対象・目的・方法に着目して—
 大島 安奈（追手門学院大学基盤教育機構）
115. 訪日教育旅行受入れの現状と課題点に関する考察 457
 —長野県及び長野県松川村の交流受入事例—
 春木 美由紀（静宜大学日本語文学科）／葛西 洋三（静宜大学日本語文学科）
116. ガストロノミー資源とガストロノミーの主体 461
 村上 喜郁（追手門学院大学経営学部）

117. 福島Jヴィレッジにおける原子力事故からの観光復興とその過程 千葉 千枝子 (淑徳大学経営学部)	465
118. ビッグデータ社会における観光研究の課題 澁谷 和樹 (立教大学観光学部)	469
119. なぜツアーオペレーターが日本に定着したか —ヨーロッパへのアウトバンドツアーオペレーターの事例を考察して— 飯田 誠一 (法政大学大学院政策創造研究科)	473
120. ワークেশョンの導入と拡大に向けた課題に関する一考察 —テレワークにおける労務管理上の課題との比較を中心に— 田中 敦 (山梨大学生命環境学部) / 森田 裕子 (リップル法律事務所)	477
121. 地方公共団体による観光NPO等に対する資金調達援助システムについて —4つの県・市町のケーススタディー— 伊藤 薫 (岐阜聖徳学園大学経済情報学部)	481
全国大会研究発表論文募集要項	485
全国大会研究発表論文執筆要項	488

第34回 日本観光研究学会全国大会 学術論文集

2019年12月

領価 3,000円

発行 日本観光研究学会

〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-16-19 コンフォルト池袋106

TEL: 03-6709-2906

FAX: 03-6709-2907

URL: <https://jitr.jp/>